

中心市街地のまちづくりに関する意向調査 結果概要 ～中心市街地居住者対象～



つくば中心市街地まちづくりビジョンの作成にあたり、中心市街地にお住まいの方の日常行動や現在のまちづくりへの課題、今後の中心市街地についてどのように感じているかを把握するため、アンケートを実施しました。

◆アンケート概要

- ・実施時期 : 平成29年9月14日から10月9日まで
- ・調査対象 : 中心市街地にお住まいの方
- ・実施方法 : 中心市街地の全戸にアンケート実施のお知らせをポスティング
アンケートはWEBで回答
- ・回答数 : 580件

◆結果概要

《結果概要》

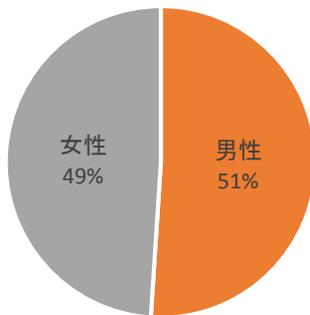
- ・中心市街地は公務員宿舎が多く、分譲住宅がすくなかったことから、居住期間が短い方が多い。
- ・現在の住まいは、交通や日常生活の利便性が高いことから選んだ方が多い。
- ・買い物については、日用品については中心市街地を利用しているが、買回り品は研究学園駅周辺を利用している方が多い。また、すべてにおいて東京都で買い物している方も一定数いる。
- ・中心市街地の良い点は、交通の利便性や緑豊かな居住環境を上げている方が多い。
- ・一方、課題としては、商業施設の不足や公務員宿舎等空き家が多いことを上げている方が多い。
- ・中心市街地の役割は、活気がある街を望んでいる方が多く、今後ほしい施設についても、商業系の施設を上げた方が多い。一方市窓口や図書館など公共施設を上げた方も一定数存在する。

《アンケート結果》

■属性

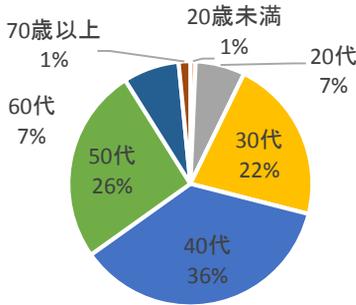
○性別

男性と女性ほぼ半数



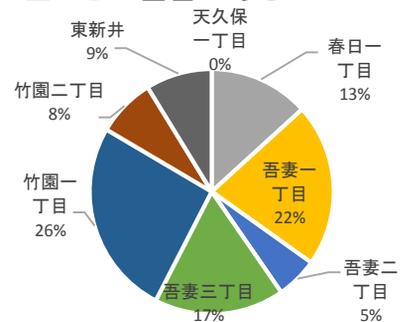
○年齢

30～50代の回答が多い



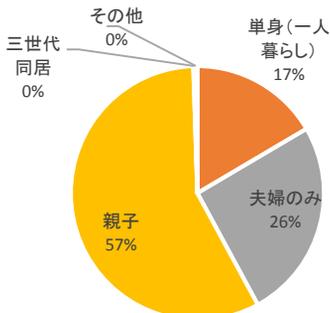
○お住まいの地区

竹園一丁目が多いが、概ね全地区からの回答がある



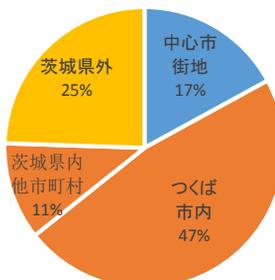
○家族構成

親子で居住している方が過半数



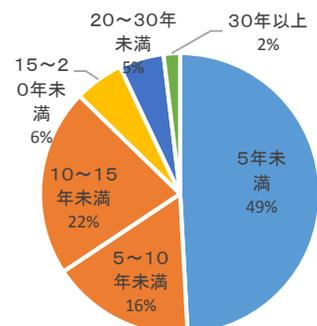
○勤務地

市内で6割を超えているが、県外が25%と高い



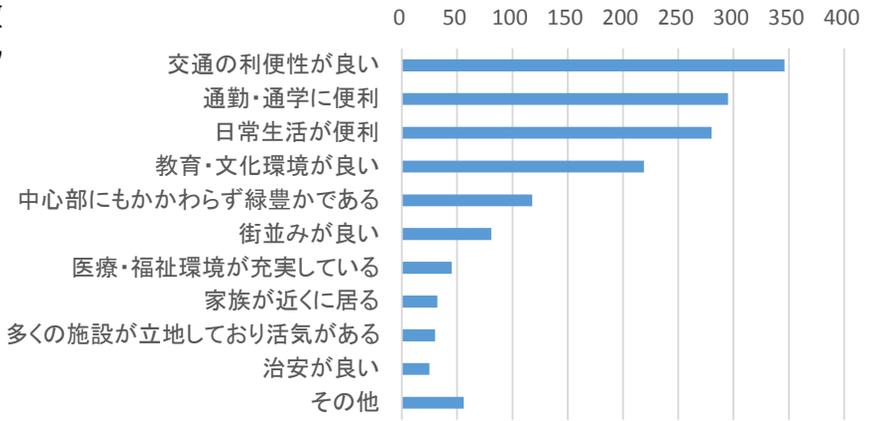
○居住年数

5年未満が半数と多く、居住期間が短い



○今の地区を住まいに選んだ理由

- 交通の便や日常生活の便利さや教育環境の良さを居住の理由に選んだ方が多い。

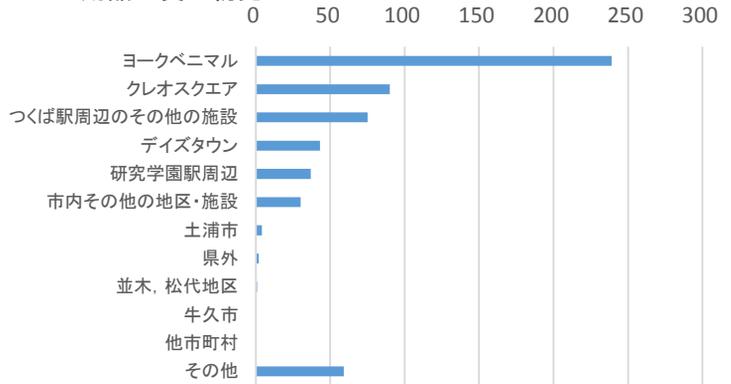


■現在の中心市街地での行動

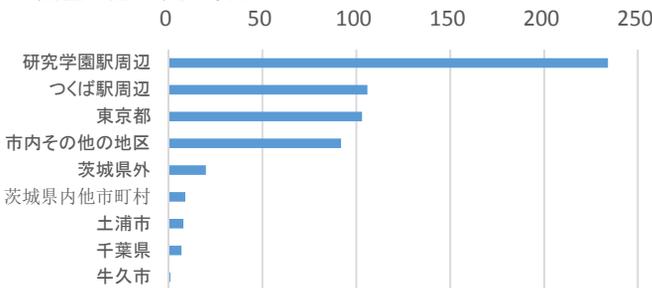
○日用品、買回り品はどこで買い物しているのか、余暇はどこに行っているのか

- 日用品については、中心市街地内の商業施設で買い物している方が多い。
- 買回り品については、研究学園駅周辺で買い物している方が多いが、東京都に買い物している方も一定数存在する。
- 余暇については、つくば駅周辺が多く、自宅周辺で過ごす方が多い。

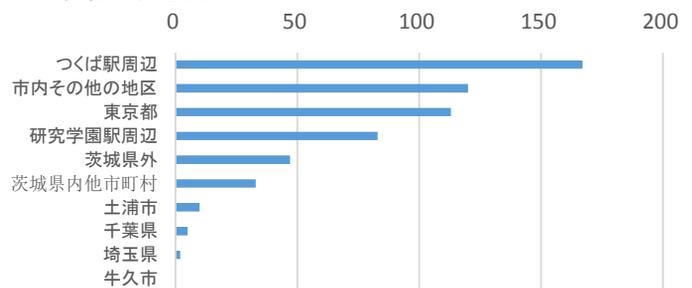
日用品の買い物先



買回り品の買い物先



余暇の行き先



■中心市街地のまちづくりについて

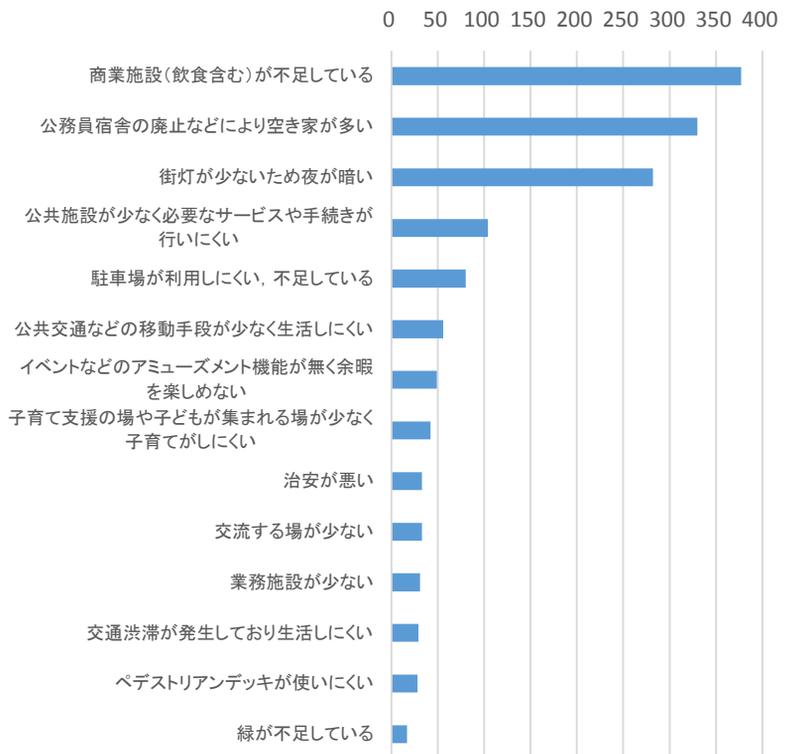
○中心市街地の良い点

- 公共交通の充実やペDESTリアンデッキによる安全な移動など交通に関する意見が多い。
- 中心市街地であっても緑豊かな環境が創出されている点を上げる方も多い。
- 公共空間の活用等により、中心市街地でイベントを多く開催しているが、イベントが多いことを良い点としてあげている意見も多い。



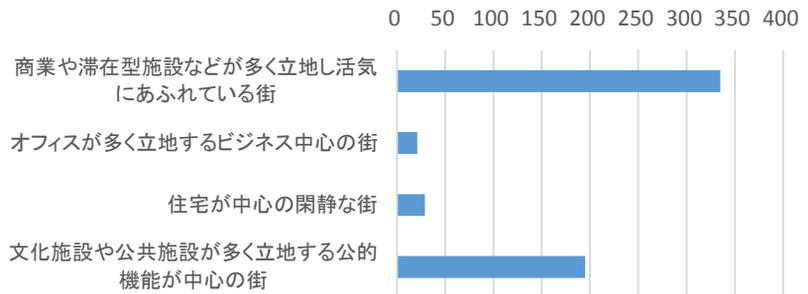
○中心市街地の現在の課題

- 商業施設が不足しているとにぎわいに関する課題を上げた方が多い。
- 公務員宿舎が廃止されている影響により空き家が多いことや夜が暗いことを上げた方も多い。
- 一方、6月に実施したアイデア募集などに多く上げられている駐車場の問題を挙げる方は少ない。



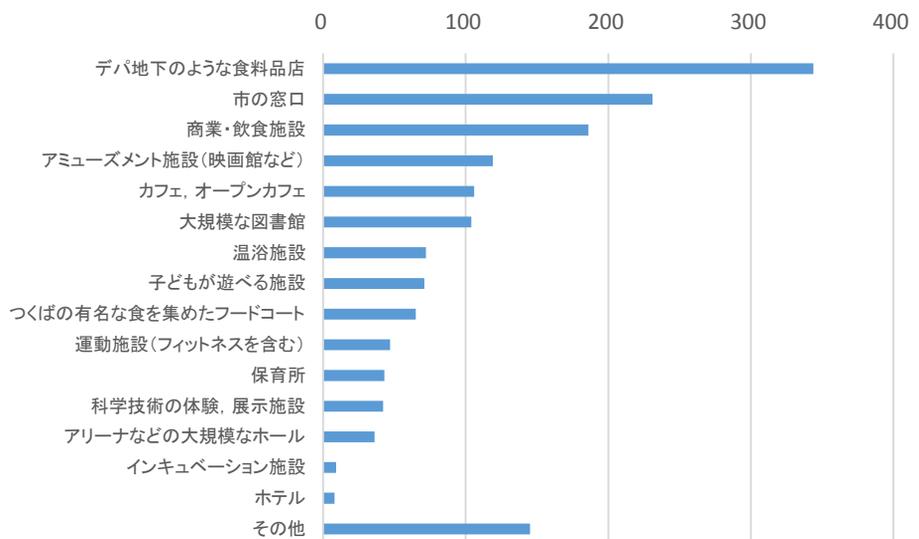
○中心市街地の今後の役割

- 活気がある街を望んでいるかたが多いが、文化的な機能が集積している街を望んでいる方も一定数存在する。
- 一方、業務や住宅を中心とした街を望んでいる方は少ない。



○中心市街地に今後ほしい施設

- デパ地下のような食料品店や商業施設、アミューズメント施設などにぎわいにつながる施設を希望する方が多い。
- 市の窓口や大規模な図書館など公共施設に対する希望も多く上げられている。



問合せ先

つくば市都市計画部学園地区市街地振興室
住所：つくば市研究学園一丁目1-1
TEL：029-883-1111（内線3330）